

阿部 美恵子（関西学院大学日本語教育センター）

1. クラス概要

初級前半¹から中級前半の学生を対象としている。1 週間に 90 分 1 コマで、41 名が履修した。日本文化についての理解を深めること、また簡単な日本語での講義を理解できるようになることが目標である。

2. 授業内容

全 14 回で、前半は日本のコメディ映画に現れる日本文化を取り出し、それを発展させて学習した。例えば、「ウォーターボーイズ」の予備校場面から、日本の受験制度や塾について学び、日本人学生に受験体験について簡単なアンケートを行った。映画のトピック終了時には、日本と自国のコメディ映画を比較するミニレポートを課した。

後半は日本の食文化について PPT や映像資料を用いながら、日本語で講義を行った。食文化学習の一環として、現代日本文化 2 クラスの学生と合同で京都フィールドトリップ²を実施したが、両クラスの留学生 55 名を 2 名の教員で引率することになったため、日本人ボランティア学生を 6 名採用し、グループで行動させた。新たな試みとして、デパ地下で一番高いおせち料理の値段を調べる等、各訪問場所で行う課題を事前に与えた。フィールドトリップの感想文を課し、学期の終わりには食文化に関する期末試験を行った。

3. 成果と今後の課題

フィールドトリップはこれまで以上に好評だった。おそらく、グループ行動にしたことと日本人ボランティア学生をつけたことで、友達と一緒に行動できたという楽しさが感じられたのだと思う。また、課題を課したことで、何に注目して見るのが伝わったと思われる。アンケートや感想文でも、教育的で良かったという声が聞かれた。

日本語での講義はわかりやすい説明で、日本語を聞く練習になったという学生がほとんどであったが、1 名が易しすぎたと述べていた。レベル差があるため仕方のない面もあるが、上のレベルの学生にも満足できるよう、アンケート項目を難しくする等の工夫をしていきたい。

¹ 学期開始時に、ひらがな・カタカナのみしか分からない学生も履修している。

² ①デパ地下見学、②錦天満宮見学、③錦市場見学、④伏見稲荷見学、⑤和菓子作り体験を行った。